

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 3月号③

令和6年 3月 24日

校長 大越 敏孝



卒業・修了おめでとう



3月19日(火) 汐見台小学校第13回卒業式が行われ、70名の6年生が巣立っていきました。新型コロナウイルス感染拡大防止のための全国一斉休校から様々な制約や制限の中での3年を過ごしてきた卒業生。今回の卒業式は、茅ヶ崎市長佐藤光様をはじめ学校運営協議会やあいさつ見守り隊など地域の皆様を来賓としてお招きし、保護者の参加人数の枠も設けずに開催しました。多くの皆様に温かく見守られながら、6年生は卒業証書をしっかりと受け取り、「別れの言葉」を通してこれまでの学校生活を振り返り、たくさんの感謝の気持ちを伝えていました。合唱「旅立ちの日に」「最後のチャイム」は、コロナ禍を乗り越え、全校児童を引っ張ってきた最高学年としての成長が感じられる素晴らしいものでした。



在校生の代表として出席した5年生から卒業生への呼びかけや合唱「風のことば」は、これからの汐見台小学校のリーダーとしての決意が感じられて立派でした。当日ご臨席いただいた市長様をはじめ来賓の皆様からは、「聴く」姿勢のすばらしさについても褒めの言葉をたくさんいただきました。4月から最高学年となる5年生は、卒業生から受け取ったバトンをしっかり握り、これからの汐見台小学校を創っていってくれることと思います。

3月25日(月)には修了式が行われ、1年生～5年生がそれぞれの学年の教育課程を修了することができました。短い春休みが始まりますが、これまでの学校生活を振り返り、新しい学年で挑戦してみたいこと、頑張ってみたいことを考え、準備する時間にしてほしいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、汐見台小学校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして感謝申し上げます。来年度も、引き続き児童が安全で安心な学校生活を過ごすことができるようにするとともに、さらに充実した教育活動が展開できるよう努めてまいります。これからも皆様のご支援をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

5年生『元気寄席』茅ヶ崎市文化芸術教育プログラム 3月18日(月)



汐見台小学校のランチルームが寄席に大変身!! 茅ヶ崎市の文化芸術教育プログラム事業で、落語家の春風亭三朝師匠、紙切り芸人の林家楽一さんをお招きして『汐見台小学校 5年生 元気寄席』が開かれました。この事業は、文化芸術を通して次代を担う子どもたちの豊かな創造性や感受性を育むことを目的として、茅ヶ崎市民文化会館のスタッフを中心に企画、プログラムを作成していただきました。当日は、朝から舞台担当の方々が高座を組み、会場設営。5年生の児童は、いつもと違うランチルームの様子に興味深々でした。

初めに三朝師匠から、寄席や落語についての説明があり、その後、楽一さんの紙切りになりました。ハサミー丁で、馬・カ士の土俵入り・鹿・さる・カメレオンと、子どもたちのリクエストに応えながら、即興でハサミを操り切っていく楽一さんの技は圧巻。子どもたちもびっくりで、感心する声と大きな拍手が自然とおこりました。最後は大越校長の横顔に「そっくり〜」「似てる〜」で終わりました。その次は、当日のメイン三朝師匠の落語で大笑い。落語によく出てくる代表的な登場人物「与太郎」のお話で初めから終わりまで笑い声がつきることがありませんでした。あっという間の45分でお開きとなりました。

当日は、タウンニュースさんの取材も入りました。3/29(金)号に掲載される予定です。そちらもぜひご覧ください。